



自社開発の B E M S 導入に N E D O 補助金を受領

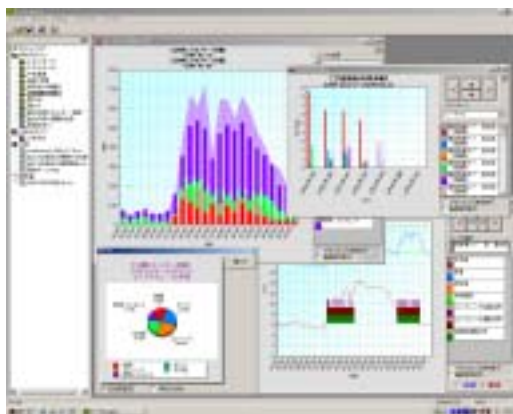
(株)中電工(加藤義明社長)は、技術センタービル(広島市西区観音新町)に自社開発の **B E M S (ビル・エネルギー管理システム)** を導入しました。B E M S は、ビル全体の室内環境とエネルギー使用状況を把握し、室内環境に応じた機器または設備等を運転管理し、省エネルギーを図るシステムです。**N E D O (新エネルギー・産業技術総合開発機構)** では、民生用建物の省エネルギーを推進するため、設備費の 1 / 3 の補助金を交付して、B E M S の導入を促進しています。

この度、自社製中央監視システムのエネルギー計測・管理機能の強化を目的として、エネルギー管理ソフト「E-Manager」を開発し、N E D O の補助金を受領して B E M S 対応の監視システム構築を行いました。

N E D O の確定検査を平成 1 6 年 2 月に完了し、現在、順調に B E M S の運用を行っています。

当社開発の「E-Manager」は、空調の間欠運転制御機能 設備機器(空調、給排水等)の運転時間履歴や照明器具の点灯時間の監視・記録機能 電力、ガス等の使用量から一次エネルギー換算計算機能 N E D O への実績報告書の自動作成機能 (財)省エネルギーセンターなどの省エネ指標データベースから、当ビルの総合的な省エネ評価を行う機能 等の特徴を有しており、空調機の運転状況、室内環境などのデータを自動収集し、簡単な操作で、時系列、傾向分析などの多彩なグラフを自由に作成・表示することにより、収集データの解析・省エネルギー分析を行うことが出来ます。以上のように、設備機器の最適な運転管理を行うことが出来るため、5 % 以上の省エネルギーを達成できます。

今後は、自社設備への導入のみでなく、中電工オリジナルの B E M S として「E-Manager」の市場販売を進めて行きます。



エネルギー管理ソフト「E-Manager」
エネルギー使用状況の分析画面例

【本件に関するお問合せ先】
株式会社 中電工
技術センター 技術開発担当部長
打江 功
電話 (082) 294 - 0560